

令和5年度 大阪ふれあいおりがみ等使用実態調査まとめ

1. 調査期間

令和5年10月18日（水）（おりがみに同封）から12月15日（金）まで

2. 各設問の結果まとめ

有効回答件数 237校（回答率：約23%）

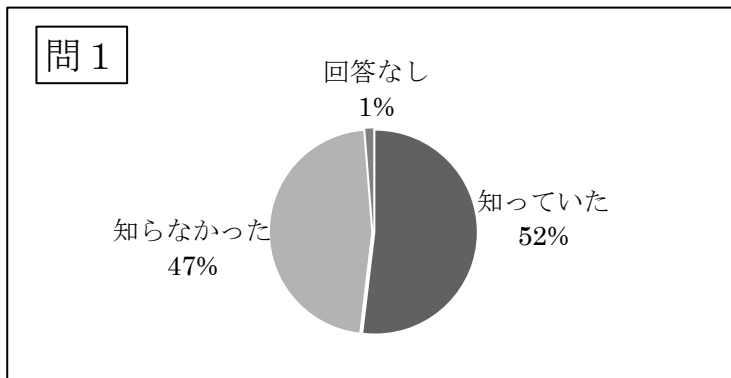
※使用実態調査配布：府内小学校1,033校（国・公・私立、支援学校含む。）

- ふれあいおりがみを知っている割合は 52%（令和4年度 57%）
- ふれあいおりがみの使用割合は 99%（令和4年度 98%）
- ふれあいすごろくを知っている割合は 47%（令和4年度 54%）
- ふれあいすごろくの使用割合は 92%（令和4年度 95%）

※各設問ごとの%は、四捨五入のためその合計値が100にならない場合があります。

【大阪ふれあいおりがみについて】

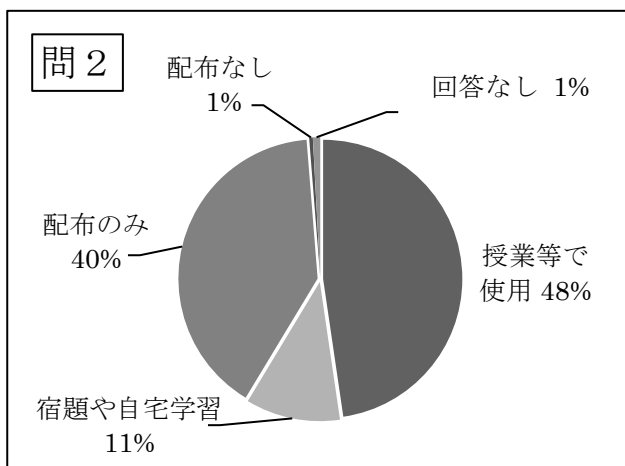
問1 「大阪ふれあいおりがみ（以下、おりがみ）」をご存知でしたか



① 知っていた	123 件	52%
② 知らなかった	111 件	47%
③ 回答なし	3 件	1%

おりがみを「知っていた」という回答が半数以上の52%となっており、一定の周知が図れていると考えられる。（R4：57%）

問2 おりがみを使用されましたか（使用される予定ですか）



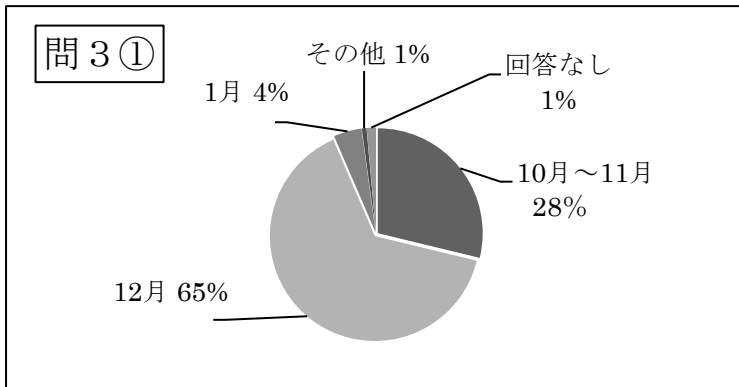
① 授業等で使用	113 件	48%
② 宿題や自宅学習	26 件	11%
③ 配布のみ	95 件	40%
④ 配布なし	1 件	1%
⑤ 回答なし	2 件	1%

使用割合は配布のみも含まれるが、99%となっており、大多数の生徒の手元に届いていると考えられる。（R4：98%）

問3（問2で、「1」または「2」と回答いただいた方）

① いつ、②何の授業や教科で、③どのように使用されましたか（されますか）④障がいに関する子どもの理解度は上がったと感じますか。（全体139件）

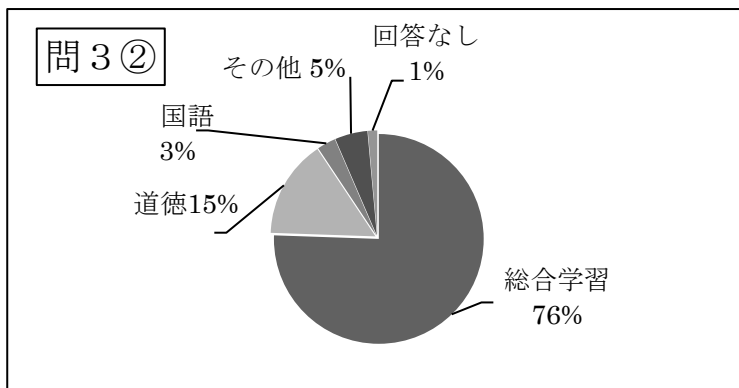
①いつ



① 10～11月	40件	28%
② 12月	90件	65%
③ 1月	6件	4%
④ その他	1件	1%
⑤ 回答なし	2件	1%

「12月」が最も多かった。おりがみ送付時に同封している送付文の内容にもとづき、「障がい者週間（12月3日～9日）」、及びその前後に活用されていると思われる。

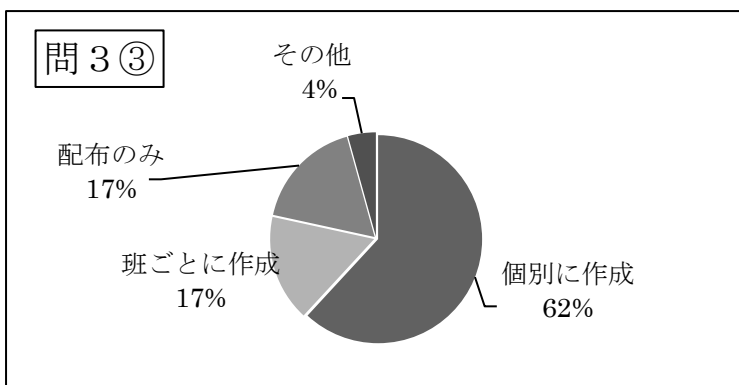
②何の授業や教科で



① 総合的な学習	105件	76%
② 道徳	21件	15%
③ 国語	4件	3%
④ その他	7件	5%
⑤ 回答なし	2件	1%

「総合的な学習」が最も多く、その次に「道徳」と続いた。その他としては、「特別活動」や「図工」等の意見があった。

③どのように

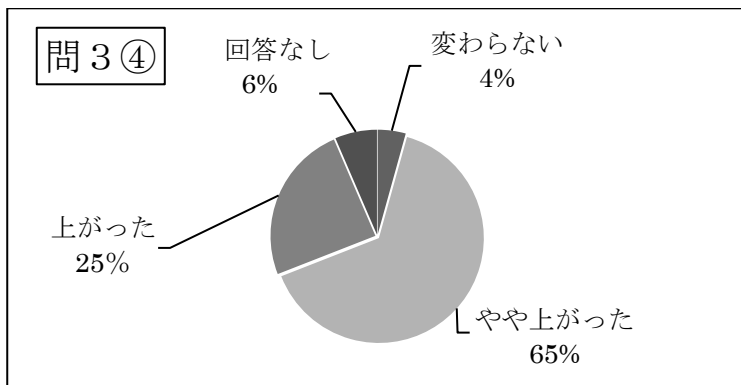


① 個別に作成	86件	62%
② 班ごとに作成	23件	17%
③ 配布のみ	24件	17%
④ その他	6件	4%

「④その他」としては、次のような回答があった。

- ・授業で記載内容を確認し、自宅学習とした。
- ・紙面の内容を読み上げて紹介した。

④障がいに関する子どもの理解度は上がったと感じますか。

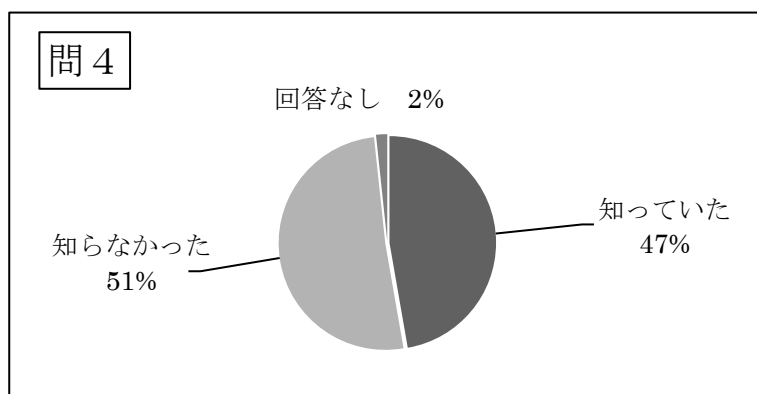


① 変わらない	6 件	4%
② やや上がった	90 件	65%
③ 上がった	34 件	25%
④ 回答なし	9 件	6%

・「上がった」「やや上がった」という回答が90%と、障がいに対する理解度は一定程度向上したと考えられる。

【大阪ふれあいすごろくについて】

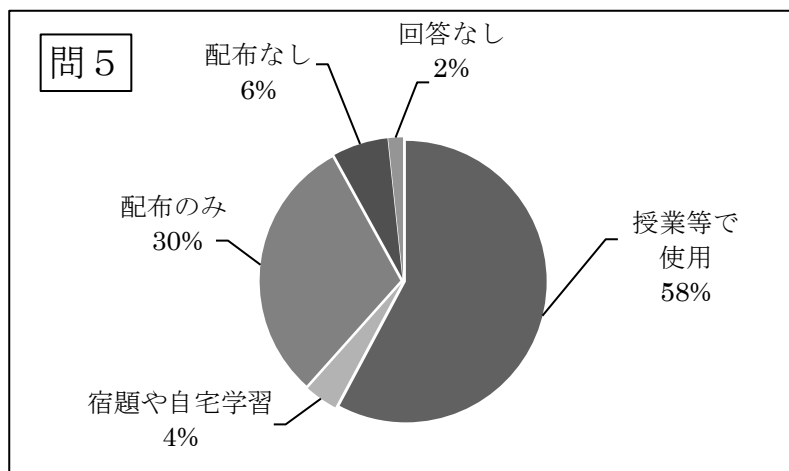
問4「大阪ふれあいすごろく（以下、「すごろく」と記載）」をご存知でしたか



① 知っていた	112 件	47%
② 知らなかった	121 件	51%
③ 回答なし	4 件	2%

すごろくを「知っていた」という回答が半数以下の47%となっており、引き続き周知が必要と考えられる。(R4：54%)

問5 すごろくを使用されたことがありますか（使用される予定ですか）



① 授業等で使用	137 件	58%
② 宿題や自宅学習として配布	9 件	4%
③ 配布のみ	72 件	30%
④ 配布しない	15 件	6%
⑤ 回答なし	4 件	2%

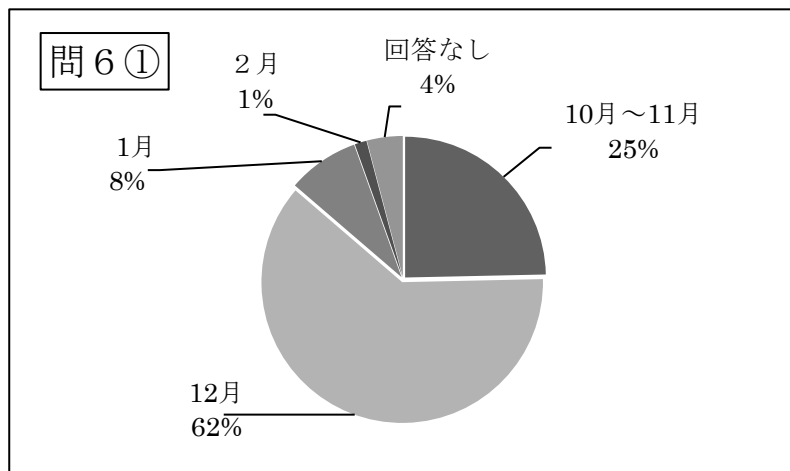
・すごろくの使用割合は92%と好調（配布のみも含む）。(R4：95%)

問6（問5で、「1」または「2」と回答いただいた方）

具体的に①いつ、②何の授業や教科で、③どのように使用されましたか（されますか）

（全体：146件）

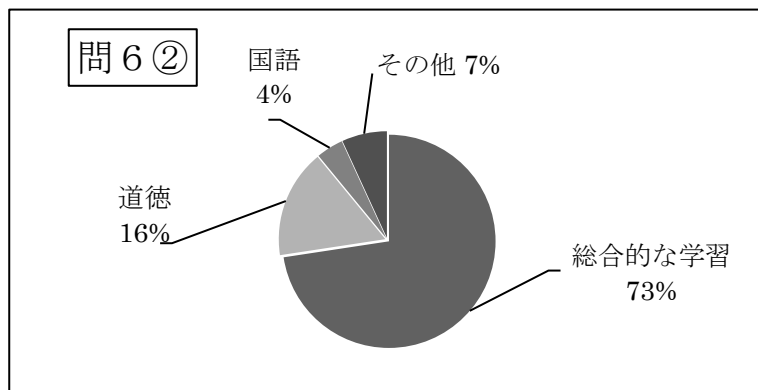
① いつ



① 10～11月	36件	25%
② 12月	90件	62%
③ 1月	12件	8%
④ 2月	2件	1%
⑤ 回答なし	6件	4%

・使用した月は、おりがみ同様「12月」が最も多く、全体の62%を占めた。

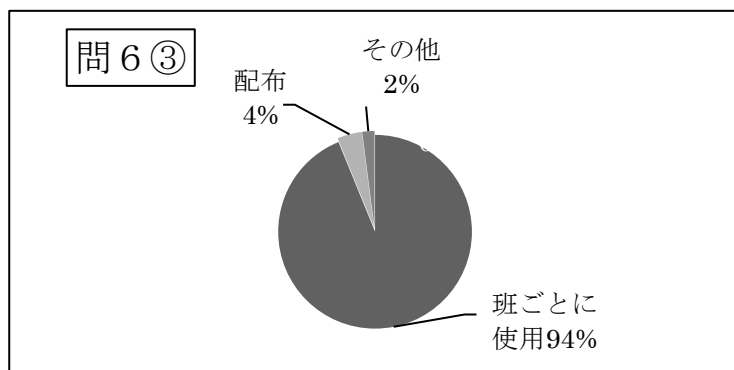
②何の授業や教科で



① 総合的な学習	106件	73%
② 道徳	24件	16%
③ 国語	6件	4%
④ その他	10件	7%

・おりがみと同様に「総合的な学習」が最も多かった。その他の回答としては、「特別活動」、「休み時間」などがあつた。

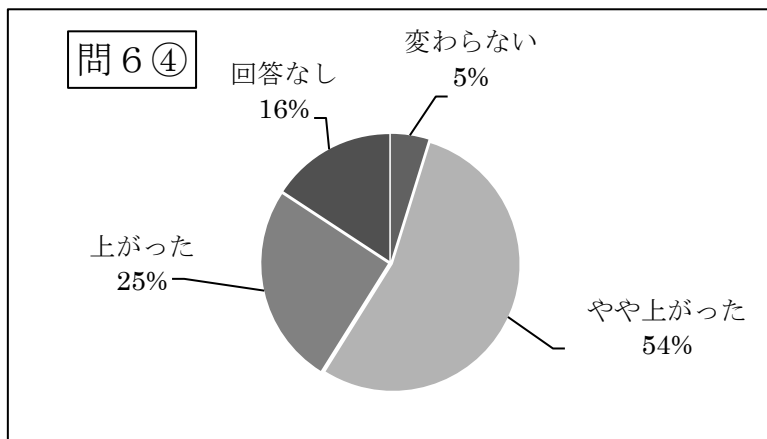
③どのように



① 班ごとにすごろくをした	137件	94%
② 宿題や自宅学習として配布した	6件	4%
③ その他	3件	2%

・「班ごとにすごろくをした」の割合が年々増加しており、今年は94%と昨年度を上回つた。（R4年：91%）

④障がいに関する子どもの理解度は上がったと感じますか。



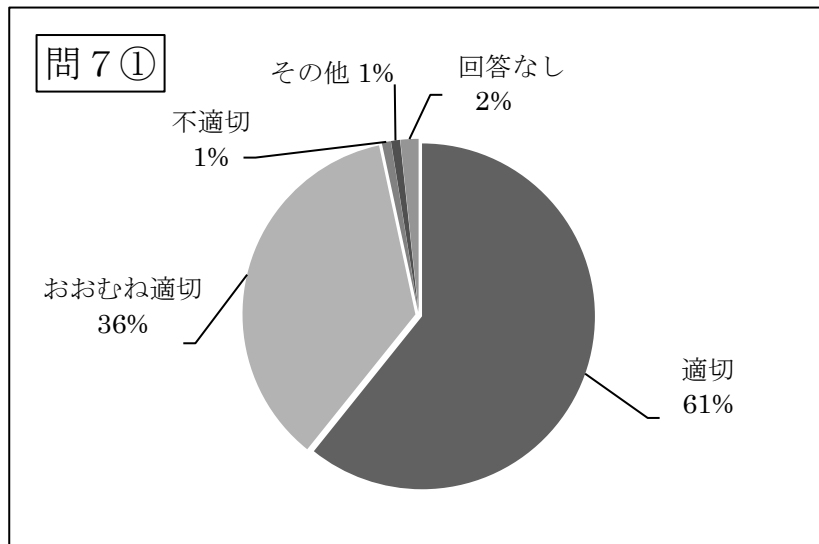
① 変わらない	7件	5%
② やや上がった	79件	54%
③ 上がった	37件	25%
④ 回答なし	23件	16%

・「上がった」「やや上がった」という回答が79%と、障がいに対する理解度は向上したと考えられる。

【大阪ふれあいおりがみ・すごろく全般について】

問7 掲載内容や、提供方法、その他良かった点・改善すべき点など、全般的にご自由にご記入ください。

① 掲載内容について



① 適切	144件	61%
② おおむね適切	85件	36%
③ 不適切	2件	1%
④ その他	2件	1%
⑤ 回答なし	4件	2%

- ・内容については、「①適切」と「②おおむね適切」を合わせると97%を占めた。
- ・「不適切」の回答については、「支援学校の3年生には内容が難しい」という意見だった。

② 掲載内容について（自由記述、抜粋）

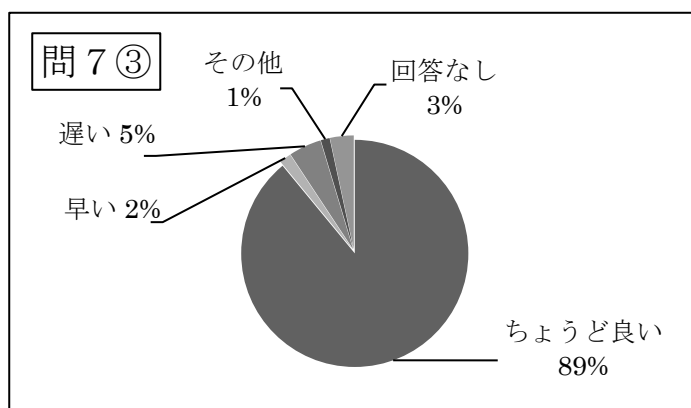
<肯定的>

- すぐろくやおりがみになっていることで児童が前向きな気持ちで取り組むことができる
- 授業で知ったことを復習できるところがよかった。
- クイズが盛り込まれていることで楽しみながら学習できる。遊びながら学習できるところがよかった。
- マークについて興味を持ち、知っているもの・知らなかったもので話が深まった。すぐろくの中の「考えよう」では、子供たちが自分の意見を言い合い、交流の場として有意義な時間を過ごせた。困っている時、困っている人に対し、どのように関わっていこうか考えていた。
- カラフルでやわらかな印象のイラストが良い。子供にも分かりやすい内容だった。
- 絵が多めでカラーだったので、3年生としては見やすく、興味が持てた。
- 最近ヘルプマークを付けている方が増えているので、マークの意味がよく分かった。
- ユニバーサルデザインについては、本校でも日常から取り組んでいるので、身近に感じた。
- マークや障がいのある方の困りごと、どのようなことが自分でできるか等、様々なことが書かれていて、とてもいい機会になった。
- パワーポイントを使うだけでなく、おりがみだけでも学習できたので、いろいろな形で授業を組み立てられると思う。

<否定的>

- 内容が盛りだくさんでどこを見るかが指示しにくかった。3年生ならもう少し内容が絞られていてもよいと思う。
- 子どもたちは興味を持ってきているし、おりがみも一生懸命とりこんでいたが、おりがみに慣れていない児童が多くなかなか折ることができなかった。
- マークなどの説明が書いてあるページが、おりがみを折ると見えなくなるのが残念だった。

③ 配布時期について

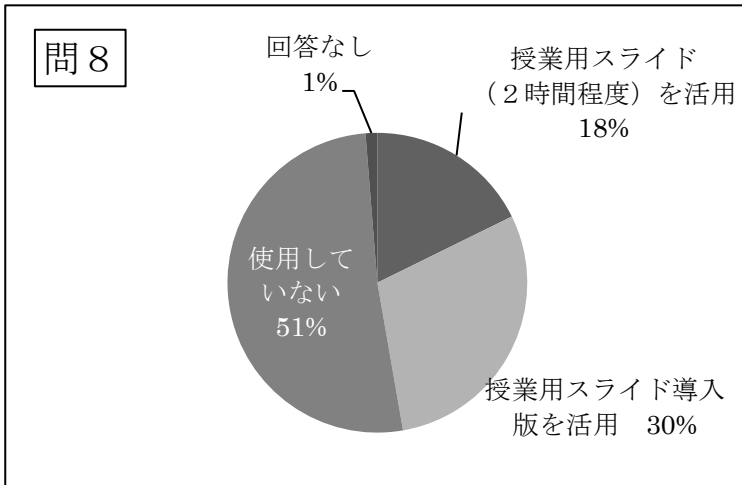


① ちょうど良い	211 件	89%
② 早い	4 件	2%
③ 遅い	11 件	5%
④ その他	3 件	1%
⑤ 回答なし	8 件	3%

- 「ちょうど良い」という回答が89%を占める一方、「遅い」という回答には「2学期は行事が多いため」「本校の人権活動時期とずれていた」という意見があった。
- 市町村教育委員会経由で配布するため、配布時期にはバラツキが出る。

【授業用スライドについて】

問8 おりがみ・すごろくを有効活用していただくため、授業用スライド（2時間程度）及び授業用スライド導入版（5～10分程度）を作成しています。このスライドについて、活用されましたか。（活用される予定ですか）



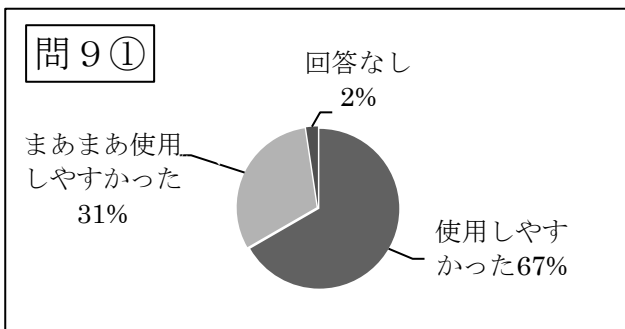
① 授業用スライド(2時間程度)を活用した(する)	42件	18%
② 授業用スライド導入版(5～10分程度)を活用した(する)	70件	30%
③ 使用していない	122件	51%
④ 回答なし	3件	1%

- ・ 授業用スライドのスライドを、おりがみ、すごろくと共に参考資料として同封したところ、使用率は48%に向上。(R3(同封なし):20%、R4:44%)
- ・ おりがみを「配布のみ」と回答している学校の中で、「授業用スライドは使用した」と回答があったのは、27件。(R4:15件)

問9 (問8で、「1 授業用スライド(2時間程度)を活用」と回答いただいた方)

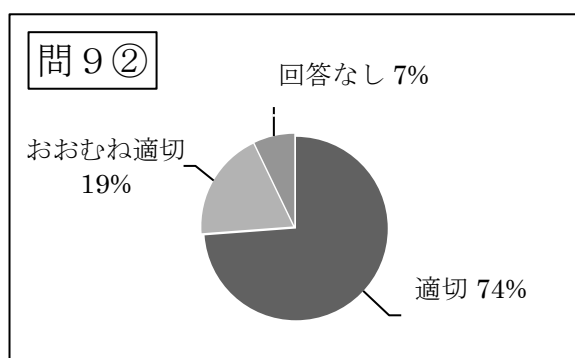
スライドについて、掲載内容や、提供方法、その他良かった点・改善すべき点など全般的に、ご自由にご記入ください。

① 使用しやすさについて



① 使用しやすかった	28件	67%
② まあまあ使用しやすかった	13件	31%
③ 使用しにくかった	0件	0%
④ 回答なし	1件	2%

② 掲載内容について



① 適切	31件	74%
② おおむね適切	8件	19%
③ 不適切	0件	0%
④ 回答なし	3件	7%

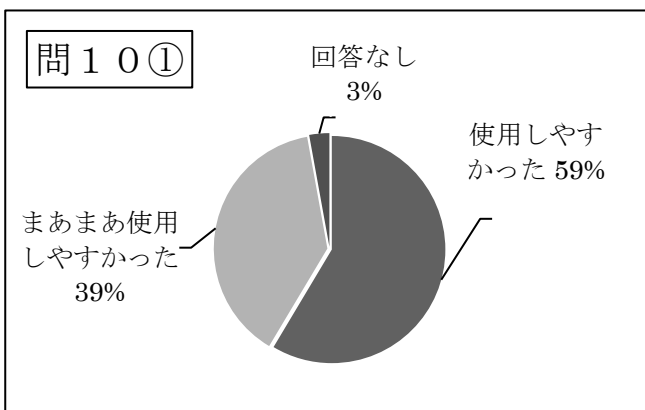
③スライドの内容について良かった点・改善すべき点等あればご記載ください。(自由記述、抜粋)

- ・これから使用する予定だが、読み原稿もあり進めやすそうである。
- ・指導する側にとっても分かりやすく進めることができた。
- ・クイズなどの児童も積極的に参加できる内容になっていて良かった。
- ・Google スライドで使用すると文字の改行がおかしくなってしまった。

問10 (問8で、「2 授業用スライド導入版(5~10分程度)を活用」と回答いただいた方)

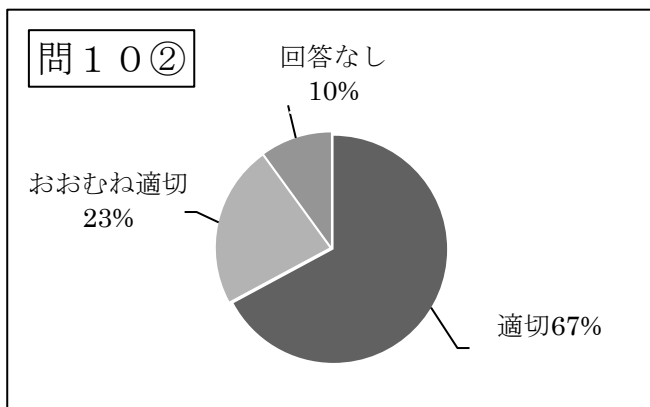
スライドについて、掲載内容や、提供方法、その他良かった点・改善すべき点など全般的に、ご自由にご記入ください。

① 使用しやすさについて



① 使用しやすかった	41 件	59%
② まあまあ使用しやすかった	27 件	39%
③ 使用しにくかった	0 件	0%
④ 回答なし	2 件	3%

② 掲載内容について



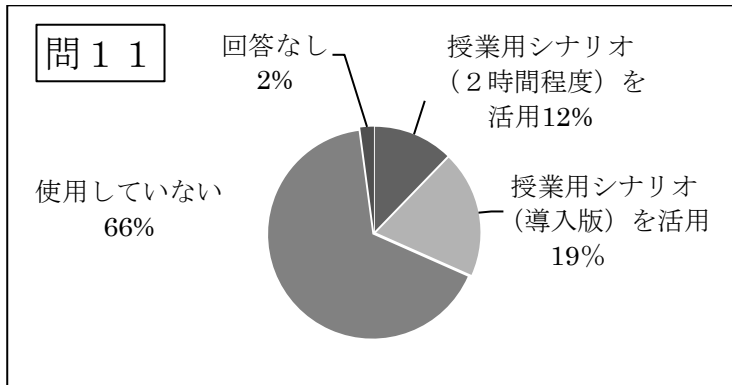
① 適切	47 件	67%
② おおむね適切	16 件	23%
③ 不適切	0 件	0%
④ 回答なし	7 件	10%

③ スライドの内容について良かった点・改善すべき点等あればご記載ください。(自由記述、抜粋)

- ・簡潔にまとめられており、短時間で、要点をつかませるのによかった。
- ・おりがみにも説明があって、家に帰って見たときに思い出せるのでつながりがあった。
- ・障がい理解学習の導入として、丁度いい内容と時間だと思うので活用していきたい。
- ・「自分たちにできることって何かな？」のスライドも1つずつ進めることができたらよかった。
- ・「みんながくらしやすい社会」「しょうがいのある人がくらしやすい工夫についても考えよう」どちらを考えるべきなのか読み取りづらい。

【授業用シナリオについて】

問1 1 おりがみ・すごろくを有効活用していただくため、授業用シナリオ（2時間程度）及び授業用シナリオ導入版（5～10分程度）を作成しています。このシナリオについて、活用されましたか。（活用される予定ですか）



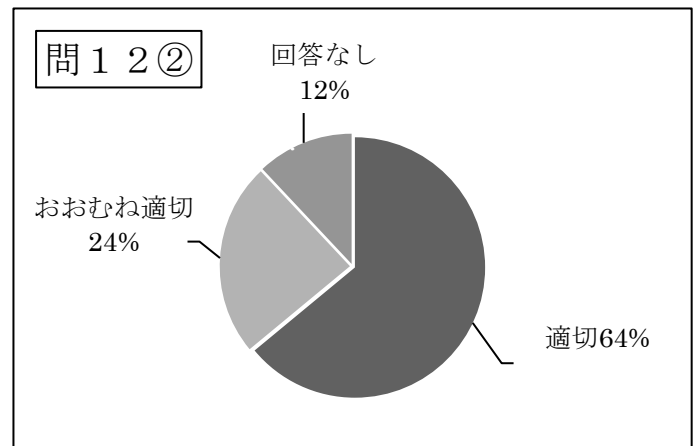
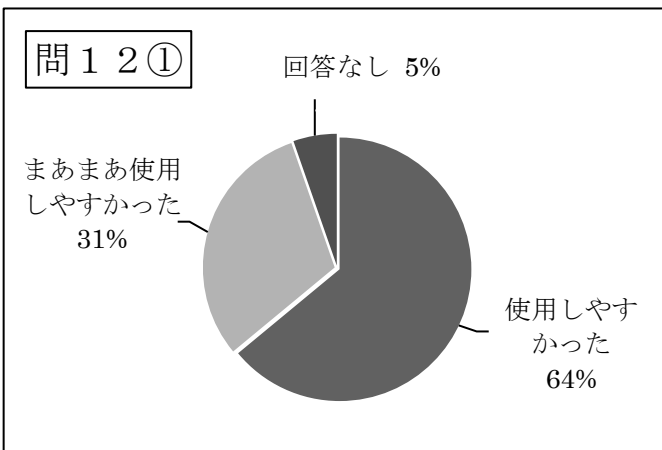
① 授業用シナリオ（2時間程度）を活用した	29件	12%
② 授業用シナリオ導入版（5～10分程度）を活用した	46件	19%
③ 使用していない	157件	66%
④ 回答なし	5件	2%

問1 2（問1 1で、「1」または「2」と回答いただいた方）

シナリオについて、掲載内容や、提供方法、その他良かった点・改善すべき点など全般的に、ご自由にご記入ください。

① 使用しやすさについて

② 掲載内容について



① 使用しやすかった	48件	64%
② まあまあ使用しやすかった	23件	31%
③ 使用しにくかった	0件	0%
④ 回答なし	4件	5%

① 適切	48件	64%
② おおむね適切	18件	24%
③ 不適切	0件	0%
④ 回答なし	9件	12%

② シナリオの内容について良かった点・改善すべき点等あればご記載ください。（自由記述、抜粋）

- ・スライドの絵をもう少し大きく載せてほしかった
- ・流れがよく分かり、学年間で「統一した内容の指導ができそうで良い。
- ・授業時数や学校行事等の関係で、この教材を単独で扱うのは少し難しい。すごろく等は教室に常駐しておき、休み時間などを使って児童が使っていた。

障がい理解に関する教材のアイデア等、その他ご意見があればご記入ください。(自由記述、抜粋)

- アンケートはフォーム等で子どもに直接聞いてみるのも良いと思う。
- 障がい者週間に合わせて人権集会があるので、事前に学習に取り組み始められてよかった。
- 子どもたちは、興味を持って取り組んでいた。
- 国語の学習でパラリンピックの説明文や自校の支援学級担当教員による啓発授業とも関連させ指導することができた。
- 3年生での福祉教育(盲導犬とのふれあい)と関連付けながら活用することができ、有効であった。
- 地域の福祉協議会和協力して、4年生で障がい理解の体験的な学習(アイマスク体験や車いす体験)をしていきたい。
- 遊びながら学習ができ、子供達も理解しやすかった。教材もスライド、おりがみ、すごろくと複数の物が準備され、指導しやすい。
- すごろくは支援学級を含め各クラスに配布した。休み時間に子供たちが遊びを通じて親しんでいる。
- 障がい理解を深める機会としてふれあいおりがみやすごろくを使った。児童の意識を向けさせるために3年生での実施も適切だと思う。
- おりがみ、すごろく共にかわいく、親しみやすいイラストがカラーで載っているため、子どもたちも興味深く見ていた。時間がなく教材として十分に扱えなかったため、次年度以降工夫して活用したい。
- 実際に使われている現場の写真があったらもっと分かりやすいかもしれない。
- 本校小学部児童には内容が少し難しいため中学部にも少し分けた。
- 障がいのある方からのお話やメッセージなどの動画があるといいと思う。
- 障がいのある人たちへの理解をすすめるには、具体的な事例を動画などで示してイメージを持つことがまずは大切ではないか。



大阪ふれあいキャンペーン